

湘南学園だより

SHONAN GAKUEN
120
2014.3.8
DAYORI

発行：湘南学園だより編集部

湘南学園小学校



contents

夢への挑戦	湘南学園理事長	辻 彰彦	02
未来への扉ひらく10の宝物	湘南学園学園長	仲本正夫	03
預かり保育「ぐるんぱ」開設	幼稚園園長	古田優子	06
第57回神奈川建築コンクール受賞	小学校校長	齊木 修	08
アフタースクール開校	小学校教頭	河本洋子	10
「スクールメールサービス」導入	小学校教頭	河本洋子	11
自ら「食」のあり方を学ぶ	中学校高等学校教諭	坂元久美子	12
中高クラブ活動の報告		各顧問教諭	13
松ぼっくり募金寄付者ご芳名			16
創立80周年実行委員の紹介			20
学校法人からのご報告			20

夢への挑戦

理事長 辻 彰彦

卒業生のみなさん。ご卒業、おめでとうございます。

みなさんは湘南学園創立80周年の記念すべき卒業生ということになりました。

今、みなさんは夢へ向かって希望に満ち溢れていることでしょう。

これからの人生が幸せに満ちたものであることを心よりお祈りいたします。

湘南学園創立80周年

湘南学園は、昭和8年の創立

以来、子どもたちの個性を尊重した自主性を育む自由な教育により、気品高く明朗な、将来社会に役立つ人間を大きく育てるという建学の精神を守り、お陰さまで80周年を迎えることができました。本当にありがとうございます。

みなさま方のご支援により、最新設備の小学校新校舎及び80周年記念館も無事に竣工いたしました。また、80周年記念館内のカフェテリア（NPO湘南食育ラボ）も本格的に始動し、厳

唇に歌をもち、試練に立ち向かおう

学園長 仲本正夫

みなさん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは創立八〇周年という節目の年度の卒業生です。これからそれぞれの進路で様々な新しい出会いがあるとあります。その中には、とても足元にも及ばないと思うような見識や経験や技を持った人もあるでしょう。それは自

分というものの小ささを思い知らされ、はるか遠い目標に向かつて一歩一歩すすんでいかなければならない出会いでもあります。私は、皆さんがそういう出会いにもたじろがずに人間としての試練を唇に歌を持ち、立ち向かい、もつと輝く人になってほしいと願っています。

選された食材、地産地消の考えに基づく本格的な食育への取り組みをはじめました。そして、この食育は湘南学園の教育の新たな領域への挑戦であり、新しい魅力を生み出す可能性を大いに秘めたものであると確信しております。

持続可能な開発のための教育

湘南学園の教師陣の取り組みの中に「持続可能な開発のための教育」というものがあります。人類社会が直面している危機的状況を直視し、持続可能な社会の形成に向けて、人々の生き方や基本的な価値観を変えてゆくことを目的とした教育の営みで、私たちの人間社会が、衰えたり滅んだりすることなく、遠い未来まで持続できるよ

うに、必要な行動や態度などを学ぶことを意味します。人間どうし分かち合い、地球に生きる全ての生命を、共に生きるものとして大切にすることで、人間は、自然が再生できる以上のものをとらないように、自然のもつ限界を尊重して活動する。そうして、現在を生きる世代が、未来に生きる世代の必要を損なわぬよう暮らしていくことで、グローバルな価値観と人間力を養うことにつなが

っていくのです。さて、そのような大きな目標に向けて、現場ではどのような教育が実践されているのでしょうか。

臨機応変に対応できる力

自分で考える力を持ち、その力を引き出すための教育が、みなさんの母校となるこの湘南学園では幼稚園から高等学校までのそれぞれのパートで培われてきました。それは幼稚園での自由保育に始まり、小学校の児童会や中高の生徒会に象徴されるような、みなさんの自主性を発揮させる場が常に用意されていることを見ても分かりますし、数々の総合学習のプログラムにも、みなさん自身が様々な体験を通して自然や社会というものを直に学ぶことができる工夫がなされています。そんな湘南学園で過ごしてきたみなさんには、何事にも臨機応変に対応できる力がすでに備わっているのです。

臨機応変に対応できるということは、知識以外の人間力を蓄えているからだといえます。湘南学園で学んだみなさんは、今後社会の中で出逢う様々な場面で、どうすることが望ましいのか、自分はそのにどう関わって

いけばいいのかという思考が出来るようになっていくはずですよ。

粘り強く、情熱をもって

そんな臨機応変な思考力を身につけたみなさんに、今後ともぜひ大切にしてもらいたいのが粘り強く、そして情熱をもって物事に取り組む姿勢です。

粘り強さほど大切なものはありません。自分がイメージしている夢に近づくまで粘り強く行動し続けてください。そして、それは多くの困難が待ちかまえているであろう社会に出た後でも、きつとみなさんを支えてくれるはずですよ。

また、情熱は不可能を可能にする原動力です。持続可能な社会の実現という大きな目標も、そこに関わる人々の情熱がなくてはこそ実現に近づいていくはずですよ。ひとりひとりの創り出す幸せが、共に生きる他の人々の幸せにもつながっていくような大きな視点をもって、これからの人生を情熱的に歩んでいって欲しいと願っています。

この湘南学園で学んだことに誇りを持ち、夢に向かって挑戦してください。

湘南学園創立80周年記念事業を振り返る

未来への扉ひらく10の宝物

学園長 仲本 正夫

湘南学園は、PTA・同窓会・後援会とともに80周年実行委員会をつくり、三年半の歳月をかけて80周年事業を成功させるとともに、11月15日の創立記念日からの三日間は、たくさん在校生・卒業生が主体的に参加する感動的な創立80周年行事をつくりあげて、全体として大成功をおさめ、未来への扉を力強く開く10の宝物を手に入れることができました。

① 小学校新校舎の誕生

80周年記念事業のひとつの小学校校舎の改築は、2012年に貝殻をイメージした外観とメディアセンターなどをもち、「校舎が子どもを育てる」という言葉通りの明るく開放的な



テキナ小学校が誕生しました。昨年11月、「神奈川建築コンクール」で最優秀賞を受賞しました。(8ページ参照)



小学校新校舎は、これからの小学校教育を大きく発展させていく推進力になるでしょう。

② 生徒待望のカフェテリア

80周年記念館は、カフェテリアと同窓会室、それに二つを結ぶ共有スペース(会議・展示等)からなっています。

設計が始まってから、東日本大震災があり、資材の値上がり・人手不足の問題等も起きましたが、それを乗り越えて昨年10月10日に竣工しました。カフェテリアは、食育をコンセプトに行うことになり、在校生保護者などを中心にした「NPO法人湘南食育ラボ」(以下「ラボ」と略す)が運営することになりました。カフェテリアは、創立記念祝賀会会場となり、式典参加者多数をお招きしましたが、保護者を中心のNPO法人が祝賀会も準備していることを知り、賞賛の声が沢山よせられました。



そして、11月20日には、中高生向けにオープンし、短時間に集中する利用者に対して、電子マネーの「ラボカード」が得意、タッチパネル方式でスピーディな注文ができることになりました。

③ 教育振興基金の創設

国際教育の発展等をはかる教育振興基金が、同窓生からの多額の特別寄付金で創設されました。引き続き、今後一〇年にわたり、「基金」への寄付を募り、充実をはかることにしていますが、同窓会からは、毎年五十万円の寄付を寄せていただくこととなりました。そして、基金運用第一号として、昨年夏、新たな国際教育の視察としてリトアニア・ポーランドへ教員一名を派遣することができました。

④ 80周年記念誌・DVD

「80周年記念誌」は、『元氣と意欲の出る記念誌』ということで、「読んでみたくなる」、「学園教育の魅力を伝える」、「同窓会、PTA、後援会も登場する」、「校舎の変遷を中心にした学園の歴史」の4つを柱にして作成され、ソフトカバーでカラグラフィア三〇が、本文一一一ページからなります。これに幼稚園・小学校・中高の教育活動を収録したDVDをつけて創立記念日までに、全保護者にお届けしました。湘南学園の現在・過去・未来を考える貴重な

資料となります。



⑤卒業生との絆を強めた ホームカミングデーの成功

湘南学園は、11月16・17日の
両日をホームカミングデーとし



て卒業生九〇〇名に昨年八月招待状を送りし、同窓会の全面的なご協力をえながら準備しました。両日には、合わせて六百名の卒業生が学園を訪れ、中高校舎を年代別の懇談会場として使うとともに、音楽祭やフリーバザール、同窓生展示会、グルメブースなどを楽しんでいた。夕方四時から一時間、卒業生歓迎会を催し、在校生のスピーチなども織り込みながら楽しいひとときを持っていただきました。80周年は、卒業生との絆をさらに強めるものとなりました。

⑥湘南学園の評価高める 感動的だった記念式典

11月15日の記念式典には、七三〇名が参加、小学生一六二名の合唱と中高吹奏楽部伴奏による学園歌で開会、それに続くオープニングの小学生の「一本の木」等の合唱、幼稚園児58名の和太鼓、中高吹奏楽部52名の演奏などが満場の拍手をいただき、総合学園の魅力を如何なく発揮しました。記念式典では理事長・来賓のご挨拶とともに森ビルの故森稔氏への感謝状を森ビル常務取締役河野一郎様にお渡ししました。

その後、会場を竣工したばかりのカフェテリアに移し、祝賀会が行われ、料理も十分ご満足いただき、盛会のうちに終えることができました。記念式典・祝賀会の成功は、湘南学園の評価を一段と高めるものとなりました。



⑦子どもたちの出番も沢山 二日間の多彩な記念行事

「ともにつどい、地域と未来に広がる創立80周年音楽祭」は、11月16日はポピュラーの日、17日はクラシックの日として行われ、両日とも、小学校の音楽室やホール、それにアリーナや中高ホールで多彩な演奏が

繰り上げられました。

出演者は小中高生からかつての芸術コース出身のプロの卒業生演奏家まで多彩な顔ぶれ、どれも湘南学園らしさにあふれた催しとなりました。

また、音楽祭とともに、卒業生の作品展示や展示即売会、コーヒー喫茶、お茶、寄贈品販売、引き馬、グルメブース、カフェテリア営業等の多彩な催しが行われ、来場者に喜んでいただくことができました。



○オペレッタ

小学生52名が参加したオペレッタ「もも・はな・かく・さか物語」は小学校ホールを満員にして大盛況、参加者から大きな拍手がおくられていました。

○一級品のピアノも準備した クラシックコンサート

一六日のハイライトは小学校ホールで行われたクラシックコンサート。



尾高惇忠・篠塚裕子両先生（東京芸大）にプロデュースしていただき、お二人のご尽力で演奏会用スタンウェイのピアノを使っているコンサートが実現し、小学校ホールの音響の良さと相俟って本格的な演奏を楽し

○ミニコンサートに37組

16日、小学校音楽室ではエンタリーした37組もの小中高生の演奏が、一部、二部に分けて繰り上げられました。

むことができました。コンサートは18人の演奏家が三部に分かれて三時間半にわたり熱演しました。

○音楽祭のフィナーレ飾った 平尾チャリティコンサート

17日はポピュラーの日、午前には、小学校音楽室、中高ホール、アリーナの三会場でバンド演奏等各種ポピュラーコンサートが行われました。



午後からは80周年行事のフィナーレを飾る平尾昌晃先生のチャリティコンサート。平尾先生制作の、湘南学園の生徒・教師・保護者それに地域の人たちが一体となって歌い、踊ることができる三一曲を秒単位で組み

立てた精魂こめたプログラムは圧巻。地域の方たちもたくさん参加したアリーナは超満員、フィナーレでは大勢の方が舞台上に駆け上がり歌い踊る大きな盛り上がりを見せました。

○大盛況のフリーバザール

音楽祭やホームカミングデーを盛り上げる楽しい企画も盛りだくさん。展示即売会・卒業生作品展、喫茶・お茶、寄贈品販売、カフェテリアや卒業生関係のグルメブースなどが大盛況でした。とりわけ、多くの方からお寄せいただいた寄贈品はほぼ完売し、音楽祭運営のための貴重な財源として活用させていただきます。また、二百七十



名が参加したキルトタペストリーが記念式典でアリーナに飾られました。

⑧自治会から「階の木」寄贈 地域との絆を強める

80周年を通して、湘南学園は地域との絆をさらに強めることができました。17日午前には「防災・防犯のつどい」を地域六自治会と初共催しましたが、三・一一東日本大震災時に、地域の津波避難場所として重要な役割を果たしたこと、80周年にあたり「楷の木」の寄贈やお祝をいただくなど、地域との絆をさらに強める機会となりました。また、「朝日」、「神奈川」、「湘南よみうり」「リビング湘南」、「タウンニュース」「ふじまに」等のマスコミ・ミニコミも80周年を報道し、地域の関心を大きく高めることができました。

⑨チーム湘南学園が力を発揮 湘南学園を発展させる力

創立80周年実行委員会は、二〇一〇年、森稔氏の講演を準備したのを契機に、学園、PTA、同窓会、後援会の四者がチーム湘南学園として取り組むこ

とにしてスタートし、1+1+1+1+1+1+1+1という奇跡的な力を生み出して80周年事業を成功させました。80周年を節目にした新たな発展の原動力はどこにあるのか、大きな教訓を残しました。

実行委員会は、常任委員会を含めて三年間で合計50回開かれ、その元に四つの委員会（行事・記念誌・事業・募金）があり、精力的に活動しました。

実行委員会のメンバーは紙数の関係で、最後の20ページにご紹介いたします。



⑩千七百名が募金にご協力 学園の発展に展望ひらく

80周年記念館建設のための「松ぼっくり募金」は、目標五千万円に対して総額五千六十四万九千五百七十一円に達し、目標を突破しました。

この募金にご協力くださった方は、延べ一六六五名（件）に達しました。

また、それ以外に、大口の特別寄付が三千二百五十万円にのぼっています。（募金報告は16ページ参照）

このように多くの方のご協力により、80周年事業が推進されたことは、今後の学園の発展に大きな展望をひらくものとなりました。

（関連記事）

○「学園だよりNO.119」（2014・11月）

○「学園だより」（創立80周年写真特集号2014・1・15）

○ホームページをご参照ください

※なお、80周年行事の記録は、DVDとしてまとめ、ご希望の方に頒布いたしました。

家庭にいたるような やつたりと あたたかい雰囲気を持つ 預かり保育

「ぐるんぱ」

開設 1 年

幼稚園園長 古田 優子

預かり保育「ぐるんぱ」とは

幼稚園では様々なご家庭の事情を持ち合わせているつしやる方や、共働き世帯の急増という社会状況を受け、平成二十五年四月十五日より、子育て支援の一環として預かり保育「ぐるんぱ」を開設いたしました。

この預かり保育は、正規の保育時間を延長して行うものではなく、仕事をしていたりつしやる方、ご家庭の用事、緊急時等を対象に、保護者の希望により引き続き在園児の保育を行ってまいります。

預かり保育時間は、保育終了後から最長十七時三十分までとされています。

朝、八時五十分から十四時までの五時間十分という正規の保育時間を過ごした子ども達が、その後幼稚園で過ごしますので居心地の良い環境を整えることが非常に重要です。家庭にいるような、ゆつたりとしたあたたかい雰囲気と、子ども達の心身の負担にならないよう安心して過ごせるよう配慮しております。

特に一学期の子ども達は、それぞれが新しい学年に進級し、環境が大きく変わったことで精

神的にも肉体的にも非常に疲れる時期です。年少さん（三歳児）に関しては、初めて親元から離れて集団生活を経験するわけですから、それはそれは大変なことです。正規の保育時間が過ぎると、自然とつとつと眠りにつく子どもも何人もあります。

子どもは皆一人ひとり体力も精神力も違います。一人ひとりの健康状態や、正規の保育時間での様子を把握しつつ、必要に応じて午睡ができる環境や、いつでも子どもが休めるようにくつろげる場も設けております。

保護者の皆様にも、子ども達が翌日の幼稚園が楽しみにできるように、お子様の体調管理にはご配慮いただけるようお願いしております。

現在、預かり保育者は二名で、お二人とも幼稚園教諭免許を取得されている方です。一人ひとりの子どもに寄り添い、母親のようなあたたかい対応を心がけています。

利用人数はその日によって異なりますが、一日平均七〜八人の方が利用されています。お子様をお迎えにいらした時



には、預かり保育者から「ぐるんぱ」での様子を保護者の方にお伝えしております。

子ども達の様子

預かり保育「ぐるんぱ」では、三歳児・四歳児・五歳児の子ども達がともに過ごしますので、自然と兄弟のような関わりがあちらこちらで見られます。ここで子ども達の様子をいくつかお伝えします。



★ままごとのドレスを一人を着ようと四苦八苦している年少さん（三歳児）。その姿を目に

すると、さつと手を貸して着せてあげている年長さん（五歳児）。二人はその後、ドレスを着てお姫様ごっこを楽しんでいました。

★年長さん（五歳児）が折り紙を切って電車を作っているところ、そばでじっと見ている年少さん（四歳児）。そのうち見よう見まねで電車を作り始めるのですが上手くいきません。すると、「やってあげようか?」と優しく声をかける年長さん。

年中さんは嬉しそうに表情で「うん。」とうなずき、手伝ってもらいました。年長さんの力を借りて待望の電車が出来上がると、大事そうに家に持ち帰っていました。



★年少さん（三歳児）と年中さん（四歳児）がレジを使ってあそんでいると、「私が先に使っていたのに・・・」「私が先に使っていたのに・・・」と言いが始まりました。すると、その声を聞きつけた年長さん（五歳児）は、二人の間に入り「どうしたの？」と声をかけ、お互いの言い分を聞いてあげています。「Aちゃんは○○なのね。Bちゃんは□□なのね。そういうときは、じゃんけんして決めたらどう？」と、まるで先生のように対応するのです。

その後、二人は年長さんの意見を聞き入れたようで、じゃんけんをして順番に使うことになりましたよ。
仲裁に入った年長さんは、胸を張って先生のごころに行き「先生、私がいてよかったですよ。」と得意げに報告していました。

★おやつ（十五時）の時間になると、年長さん（五歳児）年中さん（四歳児）が自主的にテーブルや椅子を用意し、台布でテーブルを拭いて準備しています。おやつをいただく時の言葉かけも年中、年長さんが行っています。年少さん（三歳児）は、その様子を目にするので、後

をついて同じようにやろうとしています。
こういったお兄さんお姉さんの姿を見て一緒に行動している年少さんは、自然と主体的に行動するようになっていきます。



保護者アンケートより

異年齢の子ども達がともに過ごす「ぐるんば」だからこその体験できること、また少人数だからこそ、それぞれが個性を出し合い、お互いを受け入れ、認め合える時間ともなっています。今年度初めて預かり保育「ぐるんば」を開設いたしましたので、保護者の皆様にアンケートのご協力をいただき、感想をお聞きしました。

- 預かり保育を学園で行うことに否定的でしたが、実際とても助かりよかったですと思います。
- この制度が始まり、本当に有難く感謝しております。当日の受付が可能な点が、とても助かっています。
- 先生方がさめ細やかに対応してくださり、親も安心して預けられます。子どもが「ぐるんば、行きたい。」と毎日言うほど楽しいようです。
- とてもよく見てくださり、感謝しています。年少ですが、
- 好きな幼稚園での預かり保育なので、子どもも安心して楽しく過ごしている。親としても、安心して仕事に行くことができています。
- 縦割りで過ごすことが楽しかったようで、良い刺激、良い機会であったと思う。
- 個人面談や兄弟の懇談会のときに利用できて助かりました。今後も利用したいです。
- 普段仕事をしているので、とても助かっています。
- 兄弟の学校行事の際、預ける場所があるという安心感があり、安心して子育てできます。
- アットホームな雰囲気子ども達に安心感を与えていると思う。これからも、その雰囲気を大切にしていただけたらと思う。



いやがることなく喜んで行っている。楽しいようです。

- 「ぐるんば」の存在は、親にとって大変心強い存在です。
- 降園時間までに連絡を入れれば、預かっていただけるので緊急時など大変有難い。
- 親子共々、見ず知らずの施設にお願ひするより、信頼のおける環境の良い幼稚園で安心できる先生方にお願ひでき感謝しています。
- 利用しやすく、とても有難い支援です。直前の申し込みでも受け入れてくださるので、本当に助かりました。
- 保護者の皆様から率直なご感想をいただくことができました。今後子ども達にとっても、安心して過ごせる預かり保育「ぐるんば」であるよう環境を整えて参りたいと思います。



小学校新校舎

第57回神奈川建築コンクール

最優秀賞 受賞

湘南学園の英知を結集した成果

小学校校長 齊木 修

高く評価された設計思想

小学校新校舎が権威と歴史ある第57回神奈川建築コンクールにおいて、一般建築部門最優秀賞を受賞しました。昨年度は全国的にも注目される応募作品が多く、例えば川崎市の藤子・F・不二雄ミュージアム、辻堂のテラスモール湘南、また横浜市の中央大学付属横浜中学校・高等学校などを押さえての堂々たる受賞となりました。

新校舎については、かねてより設計にあたった日本設計の福田卓司氏に、機会があればぜひ建築コンクールなどに応募し、広く新校舎の良さを広く知らしめて欲しいと要望していました。

審査委員である国吉直行氏の選評の一部を掲載いたします。「本プロジェクトの敷地は、第一種低層住居専用地域にあって、一般戸建住宅群と近接した位置にある。既存の校舎も一部活用し、グラウンドを最大限確保するなど学校としての機能面からの与条件の下、周辺住宅地との調和の確保も課題とされる中、これらを巧みに克服するとともに、校舎の機能についても意欲的な提案をもってとりくまれている。」

「地域環境へ配慮するとともに、教育の場として、児童相互、児童と先生のふれあいの機会を重視しようとする学校側の意図、それに意欲的に応えた設計者の共同作品となっている。その個人的な意図が、今後の学校教育運営の中で花開くことを期待したい。」

新校舎建設を振り返る

ここで簡単に新校舎建設の経過を振り返ってみます。

①中高新校舎建設の様々な経験を大切に、保護者理事と学校側が徹底的に、また民主的に、建設委員会を軸にして、小学校建設事業を最後まで公明正大に進めたこと。

②地域社会との調和を最後まで大切にして建設を進めたこと。また数度にわたっての地域の方々への説明会を通じて理解を得たこと。

③監修者である長澤悟氏の（東洋大学教授。教育環境研究所所長）学校建築についての豊富な知見と斬新な建築哲学を、学園側と、設計者である日本設計、施工者である清水建設が十分にビジョンを共有して建設



を進めたこと。教職員と児童の聞き取りをていねいに積み上げていったこと。選評にありますように、まさに関係者の共同作業の成果であり、共同作品であると言ってもよいと思います。尚小学校新校舎は日本建築学会神奈川支部神奈川支所賞、神奈川県商工会議所連合会賞もあわせて受賞いたしました。

校舎が子どもを育てる

戦後教育史を顧みると、何度も「教育改革」が問題になってきましたが、学校建築を改革課題と捉えるきっかけになったのは1980年代に取り組まれた福島県三春町での、地方からの教育改革でした。三春町では、学校建築そのものが改革のテーマになり、学びの中心となる広い図書館、木を素材にした温かな校舎、子ども達が小集団で親密な関係性を築くことが出来ることに配慮したデンという空間づくりなど、三春町の教育改革運動から生まれた校舎は、全国の教育行政関係者、教職員に大きな影響を与えました。もうお気づきのようですが、「校舎建築そのものが教具であり、校舎が子ども達の学びを育てるのだ」と

いう設計思想は、新校舎建築にあたっての、いわば建築哲学でした。この時その中心になっていたのが、長澤悟氏でした。本校舎はその流れの中で、フィンランドや湘南の文化的伝統も取り入れながら作られたものです。この素晴らしい教育環境を生かして、どんな花をさかせるのか、その未来は私達にゆだねられています。



アフタースクール 4月より開校

・放課後、子どもの無限の可能性を伸ばす。
・社会で子どもを育てる。

「アフタースクール」と「預かり」の両立 小学校教頭 河本洋子



「小1の壁」という言葉を新聞等で見かけるようになりまし
た。保育園の待機児童は全国で
4万人を超える水準が続ぎ、大
きな社会問題となっています。
小学生になるとその問題は解決
するのかもしれないとそうではあり
ません。小学生を預かる学童保
育の数は足りないのです。

学童保育も年々利用者が増加
し、待機児童数は把握されてい
るだけで8千人以上、潜在的な
待機児童まで入れると40万人以
上という報道もありました。
せっかく保育園に入れた保護
者も小学生になると、子どもを
預けるインフラがなくなり、結
局仕事を諦めざるを得ないのが
「小1の壁」と言われる現象
で、保育園の待機児童に続く社
会問題になりつつあるのです。
学童保育は量もさることなが
ら、その質が問題になることも
あります。多くの学童保育では
小さな部屋に大勢の子どもが押
しこまれ、毎日を過ごします。

指導員と呼ばれるスタッフの
人数も十分とはいかず、子ども
達の安全を守るだけで精一杯で
す。子どもが「学童には行きたく
ない」というケースもあり、
そんな時は保護者も心の中で詫
びながら仕事を続けるか、苦し
い選択を迫られることもあります。

もちろんアフタースクールは
共働きのご家庭だけの話ではあ
りません。現在、多くの子ども
達が習い事に通っていますが、
私学のご家庭は通学にも時間が
かかるため、学校から帰ってか
ら習い事に行くことに親子共々
時間や体力を使っています。こ
れが学校で出来てしまえば、時
間や体力の効率化になるほか、
家庭での時間がより充実したも
のになり、子ども達にとっても
友人関係を深める効果も期待で
きることでしょう。

ポートが必要なケースも出てき
ます。そんな時、学校・家庭に
加えて子ども達の放課後を支え
てくれる第3の柱があることは
大変強いことだと思います。

本年4月に「湘南学園小学校
アフタースクール」がいよいよ
開校します。
アフタースクールは、通常時
は放課後に、長期休暇時は朝か
ら開校し、希望する子ども達が
通うことが出来ます。学童保育
の「預かり」機能をもちなが
ら、学校内で様々な「プログラ
ム」が体験出来るのです。また
学校施設を活用することで、安
心で安全な居場所となり、充実
した施設を利用することで様々
な体験が可能となります。
吸い取り紙のようなこの期間
に、夢中になれる多様な体験を
重ねることは、どの親子にとつ
ても共通の願いだと思います。

そのチャンスが広がることは、
アフタースクールの魅力だと感
じています。



〔2〕導入に向けて トライアル実施

- 〔夏の体験プログラム〕
- 8月28日湘南ベルマーレと
サッカー（66名参加）
未経験者も経験者も楽しめ
るようサッカーの基礎から
試合実践までを教わりま
す。
- 8月29日サイエンス（110名）
- 1部・パフォーマンクス
・空気砲や巨大空気砲の中
心とした「回転体の慣性」
2部・ものづくり
・ペットボトルで空気砲づ
くり（低学年）
・紙コップで七色万華鏡づ
くり（中学年）
・紙コップでスピーカーづ
くり（高学年）
- 〔秋の体験プログラム〕

- 10月28日パティシエ
ロールケーキとお菓子の動
物づくり（155名）
講師・西鎌倉レ・シユー
- 10月28日・29日
鉄道模型（98名）
自分でつくる街にNゲージ
を走らせる
講師・諸星昭弘
- 12月20日
〔冬の預かり体験〕
・預かり体験（125名）
顔合わせ↓学習タイム↓段
ボールでクリスマスツリー
づくり↓昼食↓クリスマス
カード作成↓おやつ（提
供・食育ラボ）↓自由遊び
↓下校
・預かりスタッフ 講師+
放課後NPOアフタースク
ール
- 2月18日授業終了↓18:30
（延長19:00まで）
ダンスプログラム
アートプログラム
- 2月22日 新年生用プレ
- 2月27日 授業終了↓18:30
（延長延長19:00まで）
トップアスリート・
ITプログラム





□ロールケーキ・鉄道模型

【3】多彩なプログラム

4月より、15種類のプログラムを揃えてスタートいたします。スポーツ・音楽・食・学習・表現・文化…など、いずれも「市民先生（プロ級の講師）」によるものです。

プログラムは、保護者全校アンケートを参考とさせていただきました。子どもの人間力の育成・コミュニケーション能力の育成にも役立つことでしょう。

【4】運営について

湘南学園小学校アフタースクールは、「放課後NPOアフタースクール」という団体が運営を行います。今までに3つの私立小学校でアフタースクールを開校してきました。本校が4校目、神奈川県では初めてです。

「その学校ならではの放課後の環境をつくる」というコンセプト

トで、湘南学園に相応しいアフタースクールを設計していただいています。

団体の代表の方に聞くと、
①外の風を柔軟に取り入れる。
②保護者と教員の連携が強い。
③湘南の地域性がある。
という3点で、本校はアフタースクールに適した環境であるとのことでした。



登下校安全システムとして

「スクールメールサービス」導入

4月より

- ・登下校メールシステム
- ・一斉メール配信システム

小学校教頭 河本洋子



昨今の異常気象や物騒な事件など、子ども達を取り巻く環境は年々厳しい時代になって参りました。学園では、そうした環境の変化を常に敏感に察知し、お子様の安心・安全を見守ることを第一に考えております。その一環として、来年度より「スクールメールサービス」を導入いたします。

スクールメールサービスとは、「登下校メールシステム」と「一斉メール配信システム」の2つのサービスで構成されています。

【1】登下校メールシステム

小学生のお子様を対象です。お子様に専用カードを配布し、登校時と下校時に昇降口に設置された機械にカードをタッチして、保護者へ「通過しました」のメールを配信するサービスです。

機器にカードをタッチすると保護者へメールが送信されることから、学校へ登校した時間や

学校を出た時間が把握できるので安心です。保護者が常にお子様の安全を見守っているというセキュリティ教育にも繋がると思っています。

【2】一斉メール配信システム



従来利用している連絡網配信の内容を見直し、幼小中高・学園全体で利用方法を統一する方向です。進級後も常に同じメールアドレスから配信され、ご利用方法も高校卒業まで同じです。

機能に関しても連絡網に写真添付が可能なので、宿泊学習や課外授業などの様子をわかりやすくリアルタイムに受信できる機能もあります。またアンケート機能も付いていますので、「災害発生時に、お子様のお迎え可能な時間の回答をシステムが自動で受けることが出来る」などの活用が期待できます。シ

システムの運用につきましては、今後検討を進めてまいります。

【3】ヘルプデスク

ヘルプ機能が完備されていることが大きな魅力です。毎月決まった日にテストメールを配信してメールアドレスの有効性を高めたり、メールの不達や登録方法などの問い合わせを専門スタッフが受け、個別に対応して問題を解決してまいります。

【4】費用

現在、小学校の一斉配信システムには年間5040円負担していただいております。

4月からは、登下校メールシステムの利用として月額240円（世帯最大400円）です。

また、一斉メールについては無料でご利用いただけますので、保護者のご負担は今のお支払いより安価となります。

小学校の「登下校メールシステム」は初めて導入のため、運用にあたり不慣れな点もあるかと思いますが、皆様のお力添えのもと、お子様を見守る体制を強化して参りたいと思っております。よろしくお願いたします。

湘南学園中高の「食育」

豊富な調理実習の成功と失敗を通して

自ら「食」のあり方を学ぶ

中高家庭科 坂元久美子



保護者の皆様や私たち教職員
の時代に比べ、食育の大切さは巷
間よく語られるようになりまし
た。しかし一般にその実践の程度
を顧みると、少々疑問も感じま
す。

こゝ湘南学園の食育は、世に氾
濫する食の情報正しく読み取
り、取捨選択できる能力、自ら判
断できる力を養うことを目標と
しています。学園で育まれたその
力が、卒業後の彼ら彼女らを支え
てくれることを私たちは切に願
うのです。

湘南学園中高では調理実習を
意図的に多く設定しています。そ
の時間数は他校より抜きん出て
多いものです。実習によつて多くの
ことを感じ取り、成功と失敗を
通して自ら「食」のあり方を学ぶ
ことが狙いです。以下、家庭科の
授業で扱ったテーマとカフェテリア
の様子をご紹介します。

① 中学2年での取り組み

～食生活中心の授業

心身ともに大きく成長する時
期を迎えるにあたり、食の大切さ
を自覚し、基本的な考え方を身に

つけることが目的です。

〈主なテーマ〉

- ・自分たちの朝食を振り返る
- ・バランスのとれた献立「汁三菜」
- ・生鮮食品の選び方と旬
- ・旬の買い物はエコにもプラス
- ・加工食品と食品保存 表示を

読み取る(賞味期限/消費期限)
食品添加物について知る

・たのしく調理をしよう

調理の心得と準備

〈実習献立の例〉

- ・スパゲティミートソース・ク
- ・ルームシチュー・魚のムニエ
- ・ル・マーボ豆腐
- ・ぶり照り焼き・手作り味噌の
- ・けんちん汁 白和え
- ・生地からつくるクレープ・手
- ・づくりアイスクリーム

② 高校2年での取り組み

～保育中心の授業・保育と食事

手軽な離乳食レトルト食品等
が流通する中、将来親になるであ
るう生徒たちが、食をめぐる環境
と食の安全について学びます。

さらに好き嫌いなくバランスよ
く食べられる調理法や、「個食」で
はなく家族が揃った食事の大切
さ、欠食、歯ごたえのあるものを食

べること、薄味に慣れることの意
味を考えます。

〈実習献立の例〉

・嫌いな野菜をおいしく食べるスー
プ・ニコニコおにぎり・くるくるサン
ド・ツイアイスクリーム・キッズも大
好き野菜たっぷりドライカレー・身
体に優しい煮干し出汁うどん卵を
使わないスノーボールクッキー・みん
なで食べる手づくりファミリーピザ

③ 高校3年での取り組み

～教養中心の授業・受験と卒業後を見据えた食育

受験を控えた高3は卒業まで
の時間も限られています。年中行
事や冠婚葬祭にマナーはつきもの
ですので、社会人として恥ずかし
くないよう基本マナーを学びま
す。

また、カフェテリアのオープン後
に実施した高校3年特別利用時
間が大変好評でした。これまでは
下校後に空腹を我慢したまま、
または添加物の多い菓子パン等を
食べてから塾へ通う生徒が見受け
られましたが、愛情たっぷりの手
作り料理に生徒たちは本当に感
激していました。

〈実習献立の例〉

受験勉強と食事
受験生のホッと息メニュー
抹茶の点て方、淹れ方、いただき方
テーブルマナー実習(横浜ベイシエ
ラトンホテルにて)

目に良く集中力もアップ ブルー
ベリーヨーグルト、ソイドリンク
昔ながらのぬか漬け いろいろ漬
けて味くらべ

だし巻きたまごを焼いてみよう
副菜弁当(ひじき、切り干し大
根、おから、きんぴらごぼう、里
芋の煮ころがし)



④ 新設カフェテリアは

みんなの希望

湘南学園のカフェテリアは、授業
で学んだ食育の理念が具体化さ
れている場所です。保護者の皆様
が運営に直接かかわる、他に類を
見ない方式を採用しています。献
立立案の段階から参画すること
により、生徒、保護者から直に意
見を拾い上げることが可能です。

今年1月、高校2年の授業で実際
に食事する機会を設けたことが
ありました。そのときのメニューは
日替わり定食(唐揚げ、タンドリ
ーチキン、マーボ豆腐、親子丼)だっ
たのですが、アンケートを含めて改
めて浮き彫りになったことがあり
ます。それは、生徒たちにとって優
先度が高いのは「おいしくてたく
さん食べられること」であつて、良

質のもの、薄味でバランスの良いも
のを食べたいという欲求は周囲が
思うよりはるかに弱いという事実
です。

それでも、食後に「あたたかさも
のを食べられて良かった」「意外と
おいしかった」という声が出たのは
大いに救いでした。生徒の意見も
取り入れながら両者の共有点を見
出し、提供する側にとつての理想
メニューを生徒たちが好んで食
べる、そんな風土が根づくことを
目指します。

一方、好評を博した高校3年特
別利用時間からもわかるように、
生徒と保護者の皆様が思いをひ
とつにできる食育環境を整えるこ
とがプラスに作用することは疑い
ようがありません。勉強に部活動
に燃えている生徒たちの心身を
支える憩いの場、また行きたいと
感じる、誰もがホッとできるカフエ
テリアに育てていきたいと考えて
おります。

今後は内向きでの満足だけで歩
みをとめないよう、引き続き多方
面からの「意見」指摘をいただい
れば幸いです。真剣な生徒たち、
保護者の皆様のご協力、本気で向
き合う教職員、この3つの力が融
合してはじめて、私たちの目指す
食育とカフェテリアがつけられま
すので、志を高く持つて臨むこと
をお約束いたします。

中高クラブ活動報告

中高には、運動部と文化部を合わせて26のクラブがあり、放課後や朝の時間帯はもちろん、休日や長期休暇中も旺盛に活動を続けています。ここでは、部員諸君の頑張りを各クラブ顧問からご報告させていただきます。

剣道部

剣道部は、現在合計31名で活動しています。部のモットーは「心と技を鍛えること」です。強い剣士になることのみならず人としての心のあり方を大切にしています。

日常は放課後や朝の稽古に取り組んでいます。他県への遠征等を通じ多くの試合経験を積みます。

部の自慢は部員相互の信頼関係の豊かです。皆、仲良しです。

【大会実績】

2013年12月

全国高校選抜予選

女子団体 ベスト16

2013年2月

日高選抜剣道大会

男女団体 準優勝

2013年10月



クラブ運営を目指して、努力しています。

【大会実績】
新人戦湘南地区大会 ベスト16

サッカー部

サッカー部は、現在中学生33名、高校生約20名で活動しています。

中学サッカー部では、サッカーを通して仲間を思いやる気持ちを大切にするなど、様々な力を育てていきたいと思います。

高校サッカー部では、サッカーもフットサルも日々の練習を大切に、気持ちを入れながら切磋琢磨しています。

【中学大会実績】

2013年

藤沢J.C.杯 準優勝

神奈川県私立大会 準優勝

【高校大会実績】

新人戦湘南地区

予選グループ一位

関東大会県二次予選進出

県コースフットサルリーグ

5位

県フットサルリーグ

選抜候補者 1名選出

女子バレーボール部

部員数は中高あわせて47名。週4回のアリーナ練習に加え、朝練やトレーニングにも励み、技術

と体力の向上に努めています。また、夏期休暇中には千葉の県立高校で合同合宿を行っています。

近年は、大会運営や審判活動にも力を入れ、バレーボールを通じた幅広い活動で、心身ともに大きく成長し、実力を伸ばしています。

【大会実績】

2012年度高校新人大会

県大会出場《創部初》

2013年度高校関東予選

県大会出場《2大会連続》

2012年度中学夏季

および冬季私学大会

決勝トーナメント出場

2013年度中学夏季私学大会

決勝トーナメント出場

水泳部

3ヶ月の短いシーズンの中で、沢山のレースで最大限の力を発揮できるように、集中的に練習に励む期間と、基本的な事や自分の課題を克服する事、メンタル面の強化など、様々な角度からスイマーとして力となる事を身につける期間と、時期によって大きく練習を分けて行っています。シーズン中は、一昨年に新しく出来たプールを使い、オフシーズンでは、スイミングスクールや公共のプールを使用して水中練習を週2〜3回、筋力や体幹のトレーニングを週に1回取り組んでいます。

ダンス部

中高男女合わせて部員は63名。週3回の練習に加え、週1回の朝練も今年から導入。基礎技術の向上に真剣に取り組んでいます。

ングを週に1回取り組んでいます。シーズンで、部員全員が満足いく結果を残せる様に「心・技・体」のバランスを意識しながら、日々練習に打ち込んでいます。

卓球部

卓球部は、体を動かすことが得意な生徒もそうでない生徒も、全ての部員が技術の向上・試合での勝利を通して「達成感」を感じられるよう上達することを目標にしています。

高校では、秋の新人戦で男女合計4名の選手が県大会に出場しました。特に高1の天野さんは学年別の湘南地区大会で優勝するなど優秀な成績をおさめています。

中学では、男子団体で3大会連続の県私学大会ベスト8入りを果たし、夏の藤沢市大会では第3位に入賞しました。いずれも数十年来の快挙です。中学女子部も、4名が個人戦で湘南ブロック大会に出場。市大会準優勝という結果を残した1年の小笠原さんは県大会にも出場しています。

ます。

最高学年高2が創りあげる学園祭3月公演作品は、毎年その学年の思い願いが「テーマ」に込められ、部員全員で「夢」を形にしていきます。生徒主体の活動、その集大成を是非沢山の方々にご覧頂きたい！そう願っています。

【大会実績】
相模原よさこい乱舞「ベストスマイル賞」2年連続受賞など

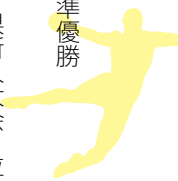
ハンドボール部

ハンドボール部は中高男女4団体総勢65名で活動しています。ハンドボール部では、関東大会出場の高い目標を掲げ、そこに向かつて仲間と協力し、自己を高めて、どんなときでも頑張りぬぐ力を養うことを大切にしています。今年度は、高校男子が湘南地区新人大会優勝、神奈川県新人大会ベスト8進出という好成績を残し、高校女子が湘南地区大会でベスト4に進出しました。

【大会実績】

- 中学男子
2001年度 県新人大会3位
2002年度 県選抜予選3位
2003年度 県選抜予選3位
- 高校男子
2001年度 県新人大会3位
2002年度 県選抜予選3位
2003年度 県選抜予選3位

県関東予選準優勝



★関東大会出場★

2002年度

県高校総体予選3位

バスケットボール部

中高男女合わせて部員は60名、アリーナにて週4回のコート練習、ドライエリア・トレーニングルームなどで小池健太トレーナーのもと、週1〜2回のコーディネーション・トレーニングやフィジカルトレーニングに取り組んでいます。中学生では基本的な技術向上練習に取り組み、高校生では中学時の経験を元に自主性を重んじて実践形式の練習を中心に取り組んでいます。全団体統して、学業と部活動の両立を基盤に「楽しく、一生懸命」活動しています。競技結果は高校女子が昨年度の新人戦で県大会に初出場を果たし、今年度の新人戦でも2年連続2回目の県大会に出場しました。

野球部

「観ている人に感動を与えられるチームになる。」本校野球部の目指すところです。

これは「できることを一生懸命やる」という意識によって達成することが出来るものだと考えています。日々の練習で意識的に活動してきたおかげで「元気があ

って良いね」「観ていて気持ちが良いね。」と喜んで頂けるようになりました。公式戦の勝利からはしばらく遠ざかっていますが、本校野球部として「できることを一生懸命やる」という意識を、今後も継続していきたいと思っています。

ラグビー部

本年度、22年ぶりに全国高校ラグビー大会に出場し、ベスト16まで勝ち進んだ東京都代表の目黒学院高校には、2名の学園中学の卒業生がいます。ヘッドコーチの竹内教諭と背番号4で寮長も務める3年生の山本大智君です。

山本君は、「先輩の竹内先生を必ず花園に連れて行く」と誓って、学園中学を卒業しました。そして、3年後の今年、見事にその夢を達成したのでした。

陸上競技部

「個人競技の陸上を集団で行う意味を考える」ことを大切にしています。試合で自分の心と闘うためには、仲間の心を高く上げていく必要があります。今年度は、男子リレーが活躍し、中学生は市選手権で1位、高校生は県大会に進出したことが大きな成果でした。4×100Mは「4継」と呼びます。引退した先輩の「走

思走愛」の想いを、今の部員が前を向いて走ることで、ずっと受け継いでいってけると信じています。

演劇部

脚本も配役も、練習日程も自分たちで考えながら決めていきます。お互いのよいところを認め合いながら協力するチームワークのよさが自慢です。9月の学園祭、11月の湘南地区高校演劇連盟発表会に参加しました。今年度は、12月に藤沢少年の森で、初めての合宿に挑戦しました。3月に1年間クラブをリードしてきた高校2年生を中心に引退公演を行います。1年間をしめくくる大切なステージ、精一杯がんばります。

合唱部

部員同士の仲が良く、結びつきが強いクラブだと言えます。近年は、男子部員も増えてきました。週3日間の練習があり、うち2日間はトレーナーの先生が教えて下さいます。練習ではストレッチ、発声練習、パートに分かれての音取り、全員揃っての合わせ練習などを行います。その練習成果を発表する機会としては、7月のふじさわ音楽祭、9月の学園祭、3月の定期演奏会などがあります。

す。

写真部

写真部は、湘南学園中高の中で最も部員数の少ないクラブです。活動は春の松風祭と秋の学園祭への参加を基本とし、それに向けた準備を進めていく以外は、基本的に部員諸君の自主性にまかせています。そのため、普段の活動日も特に決めず、活動したい時に個々に顧問に申し出るという形をとっています。こうした自由な雰囲気が進められるのも、小規模な部活ならではの良さですね。

将棋部

部員は現在25名、専用部屋で週3回練習します。部内リーグ戦や公式戦の戦績で遠藤コーチから段級位の認定を受けます。コーチ顧問の指導対局、詰将棋の練習やプロ棋譜解説、専門書の貸出なども行います。今年度は中一が6名入部し、向上心が旺盛で先輩部員に「下克上」を重ね、活性化しました。橋田部長を中心に高2部員は頼れるメンバーです。高3長谷川が県第3位で関東大会にも出場しました。毎年夏に他私学強豪校と合同合宿、今年度は1校170名で切磋琢磨しました。県団体戦には中高計8チーム

が出場。公式戦のある、頭脳の運動部で、有段者を増やすことを目標に和気あいあいと取り組んでいます。

書道部

中高26名が一緒に和気あいあいと自己研鑽し、「書」で自己を発表しようという日々半紙・大作パフォーミングス書などに取り組んでいます。

神奈川県高文連生徒委員会にも参加。各種コンクールや書道展に出品し、様々な特別賞を受賞しています。部活動HPをご覧ください。

「公式書写検定」では、平成22年度1級合格高校生の部で文部科学大臣奨励賞受賞に続き、平成25年度2級合格中学生の部で中3生が「文部科学大臣奨励賞」を受賞しました。

新軽音楽部

現在中高で32名の部員が所属する新軽音楽部では、学園祭をはじめ様々な場所で演奏するようになっています。

今年は80周年記念音楽祭や藤沢市のJUMP UP CONCERTなどで演奏しました。また、公式戦では夏の大会、秋の大会ともに高校2年生のバンドが決勝進出するなど、創部以来の快挙を成し

遂げました。

活動は週2回と少ないなか、バンドごとに時間を決めて練習をしています。最近では朝練を始めたバンドもあり、活動はどんどん活発になってきています。

夏は長野県で泊3日の合宿を行い、そこで学園祭で演奏する曲の最終調整をします。

今後は基礎練習を徹底し、演奏の質をもっと上げていきたいと思っています。

吹奏楽部

吹奏楽部は、現在55人で活動しています。今年は、夏のコンクールや学園祭などに加えて80周年記念式典や音楽祭の演奏もありました。練習日が多く厳しい面もありますが、ひとつひとつの演奏会で音楽面だけでなく、精神的にも成長して欲しいと願っています。

現在は、今年度の集大成でもある第26回定期演奏会に向けて猛練習中です。4月1日(火)藤沢市民会館にて16時30分に開演します。ぜひお越しくたさい。

鉄道研究部

私たちのクラブは、歴史はかなり古く、老舗のクラブとなりました。人数は、部全体となると、10人前後の少人数で構成していま

す。鉄道研究とはいっても、生徒

によって、何を中心に研究活動をするのかは、多岐にわたります。乗り鉄、撮り鉄、音鉄、模型鉄などですが、日常における活動は、Nゲージ模型の作製です。鉄道以外の沿線についてもリアルに模型を作製して学園祭で発表しています。

そして、春と夏に実施する長期の合宿は、すべての部員が楽しみにしている企画です。平成25年度は、今年3月に廃止が決まった寝台特急「あけぼの」に乗車しました。

現在22名の部員は在籍しています。残念ながら、今年度は中学1年生の部員の入部がありません。年中部員を募集していますので、気軽に活動を覗いてください。

動画研究部

日々の活動は、ストーリー漫画を書いたり、イラストや短編小説など多岐にわたって活動をしています。春に新入生に向けて校内で印刷をする部誌「春のAll Right」を、秋の学園祭では印刷所において、秋の学園祭では印刷所において製本された部誌「All Right」を、冬は部内だけに発行する「冬のAll Right」を作成します。

人気漫画家の様に原稿メ切り

頑張って作品を書いています。

パソコン部

クラブの中では、先輩後輩の隔たりはなく、仲良く活動しています。活動内容は、CGの作成、DTM、ゲームの作成などを行っています。昨年度から予算の関係もあり小規模ですがロボットにも挑戦しています。内容については、部員一人一人が何をやりたいのか、どうしたらできるのかなどを考えてもらうことを大切にしています。来年度は、部員一人一人のスキルアップとコンクールに参加してみようと考えています。

美術部

今年度4月より約20名の部員でスタートし、自らで積極的に活動を作り上げ、自らで積極的に活動を作り上げ、自らで積極的に活動をしていきます。美術部は絵画や彫刻などの技術性だけでなく、芸術に必要な幅広い教養も身につけ、芸術的感性を養うことも重視します。そのため今年の夏合宿では、美術館に加え、国立歴史博物館(千葉県)も活動場所に加わりました。活動は、松風祭、学園祭、高校美術展への出展が中心ですが、今年度はノックス校との交流企画(ロウソク作りとお好み焼き)やチャリティーイベントなども活動

に加わりました。春休みには湘南モノレールの江ノ島駅構内の壁画制作の活動も予定しています。

野外活動部

最近、部員数が増加して、部で最大のイベントである夏合宿は、平成24年度小豆島20名、平成25年度神津島30名と増えて、三度の飯作りが大変。それでも、釣った魚を自分でおろして食べ、釣れない人はご飯味噌汁だけというスタイルが定着しました。その他、土曜日の江ノ島での釣りや時たまのビーチバレー、冬の氷上ワカサギ釣り、春のスノーキャンピング、休日の海釣り公園やサイクリングなど、部員たちの思いを形にしながら活動しています。

理科研究部

理科研究部では、平成23年度から3年間、科学技術振興機構からの助成を受け、合宿とフィールドワークにおける生物多様性の体験的理解を目標に活動してきました。地域のNPOとも連携して活動を広げています。平成24年度は、研究の成果を日本生物教育学会でポスター発表しました。平成25年度はサイエンスキャッツル東京大会で4本の発表を行いました。

創立80周年記念

「松ぼっくり募金」は総額八千二百万円に

80周年記念館募金は目標五千万円を達成

ご芳名を名板に刻み記念館に飾ります

〈最終締め切りは三月三十一日〉



【松ぼっくり募金報告】

平成25年11月15日の湘南学園創立80周年記念式典・祝賀会は、多数の御来賓のご出席を賜り、盛大に執り行うことができました。

80周年記念事業を達成できたのは、申すまでもなく松ぼっくり募金に賛同していただいた皆様方のお陰であり、第一の貢献者・立役者として感謝しております。学園創立80周年記念館も完成し、祝賀会は新装カフェテリアにおいて実施、NPO法人湘南食育ラボによる料理も大好評でありました。湘南学園の新たな取り組みを多数の御来賓に紹介できたことは、大きな成果でもありました。

以下、第3回目の中間報告として平成26年1月末までにご寄付を賜りました方々全員を改めてご紹介させていただきます。

特別寄附は目標額五千万円に対し三千二百五十万円に達し、一般寄付は目標額五千万円に対し五千六十四万九千五百七十一円

(内訳下表)と目標を達成したことを先ずもってご報告させていただきました。掲載は、個人・団体・法人名のみ50音順とし、敬称は省略させていただきます。

【特別寄付

(教育振興基金等)

森 稔・関家憲一
中川陽一郎・山下耕平

【一般寄付

(80周年記念館建設資金)

◆個人

相田恵美子・相原秀昭・相原未来
青木一雄・青木香那子・青木斉子
青木光裕・青木泰雄・青木佳朗

青野一郎・青柳真帆・赤坂一
秋元健司・青山貴志・青山 亘
赤井 格・赤井絵理・赤井和憲
赤井祥子・赤井保信・明場英幸
暁山昌幸・赤星福子・秋田岳志
秋田 敏・秋葉裕之・秋元光太郎
秋元大祐・秋元良太・秋山弘太郎
秋山 淳・秋山千草・秋山満宣
浅井美智子・浅香俊二・浅黄克哉
朝倉康之・朝倉優文子・朝倉 實
朝田一紀・浅田順一・浅田初江
浅沼 利・浅利幸江・アジマスカ
東 忠幸・愛宕奈津美・安達昌史
穴山雄一・穴山洋一・阿部隆一
甘粕早苗・甘粕幸人・天沼照夫
天野覚美・天野 仁・雨宮信之
網頭秀夫・綾野鈴子・荒 喜孝
新井健太・新井澄子・荒木田伸子
荒木千賀子・荒木伸浩・有蘭和子
有村早織・栗村雄一・安斎 隆
安斎直孝・安斎直彦・安西洋幸
安藤敏行・安藤雄二・安陽太郎
飯島隆史・飯島典光・板橋紀明
一ノ木裕一・色敏彦・井出 孝

井出吉彦・飯田一雅・飯田智一
飯田義隆・飯塚高司・飯塚たみ枝
飯森好充・飯山禮文・五十嵐修
五十嵐竹虎・五十嵐由伎子・五十嵐竜太郎
五十嵐礼恩・猪狩光希・井川悟史
井川としこ・生田 信・池上 聡
池仁 浩・池田明紀・池田朋子
池田雅明・池田政克・池谷寿奈子
池永 寛・池村祐一・伊佐 寛
伊澤善夫・伊澤佳久平・伊澤和洋
井澤裕之・石井 収・石井克幸
石井一雄・石井孝雄・石井孝子
石井千恵・石井信彰・石井宏武
石井文郎・石井康子・石井利香
石岡照康・石神 恵・石垣文緒
石神久嗣・石川樹一・石川智啓
石川夏帆・石川康雄・石川吉彦
石川楓子・石倉英治・石倉祐司
石沢直孝・石島忠章・石田公男
石田秀樹・石田 勝・石田 稔
石田由貴彦・石橋明彦・石橋洋子
石原宏尚・石原幸夫・井島 宏
石丸正弥・石渡利光・石渡義和
石渡亘俊・泉 真一・井関琢哉
磯崎光男・五十畑潤一・磯部博樹
板橋紀明・市岡真由美・市川寿美江
市川秀樹・市川廣司・市原秀一
井出 孝・井出吉彦・伊藤勝弘
伊東邦子・伊藤慶太・伊藤静美
伊藤紗玖良・伊藤眞哉・伊藤たか子
伊藤 亨・伊藤 等・伊藤秀明
伊藤敏雄・伊東 誠・伊藤 誠
伊藤正宏・伊藤 学・伊藤道夫
伊藤恵三・稲川あや・稲永朝彦

「80周年記念館」建設募金 (2014年1月31日現在)

	募金件数	募金額(円)	教職員	84	3,258,777
同窓会	670	15,184,190	法人関係	45	3,205,000
P T A	758	19,520,567	その他	60	7,563,037
後援会	48	1,918,000	合計	1,665	50,649,571

稲葉和気子・井上康一・井上志磨子
井上輝彦・井上正樹・井上政憲
井上祐貴彦・井上義朗・井上良子
伊野和也・猪木基広・猪熊清彦
猪爪 優・猪俣雅生・井原康秀
伊吹 学・伊吹 龍・今井榮継
今井 豊・今里佳奈・今村京子
今村好一・入澤 章・伊禮滝正
岩井雅司・岩井耀二郎・岩井佳子
岩尾健太郎・岩尾純一・岩崎希名
岩崎佑之・岩崎行恒・岩沢典子
岩田 淳・岩田大輔・岩田 保
岩田和子・岩田富貴子・岩田悠暉

岩波常昌・岩渕里咲・岩元哲也
 上杉瑠璃・植田卓真・植田治久
 上田正巳・上野徹平・上原由起夫
 植松英世・上村裕介・魚津靖太郎
 宇佐原康精・氏家英男・牛込公郎
 牛込雅子・白井 章・白井加名子
 宇田隆悦・内島 仁・内田修司
 内島孝俊・内山伊史・内海藤夫
 梅木浩朗・梅津 薫・梅宮茂良
 梅屋和人・浦田智禎・浦田雛子
 江上尚良・江頭宏亮・江口恵子
 江口千恵子・江黒正敏・榎本 理
 榎本トミ・海老澤健次・海老澤正雄
 海老原新・江利川幸弘・遠藤洗一
 遠藤征吾・遠藤光衛・遠藤晶土
 大井友子・大石暢彦・大岩慎治
 大内 明・大内康行・大木康一
 大木康子・大久保泉・大久保裕児
 大久保理子・大越 保・大澤隆史
 大島満春・大島康治・大島智晃
 大島 浩・大島真奈子・大島幸雄
 大島洋一・大島義則・オオタカヒ
 大高基子・大竹弘子・大塚美樹
 大寺秀男・大伴直子・大貫純子
 大貫 透・大貫文詠・大沼 智
 大野圭介・大場 純・大橋伸次
 大橋堯夫・大原健一・大平英子
 大平 亮・大村太郎・大森恵蔵
 大森信久・大森正輝・大森祐亮
 大山秀徳・大脇英司・大脇玲子
 岡江 輝・岡崎秀晃・緒方哲也
 岡 晴美・岡 美恵・岡田尚志
 岡田正人・岡田泰子・岡戸和彦
 岡野幹樹・岡部快居・岡部知花
 岡部知憲・岡部 稔・岡部佳依
 岡村和彦・岡本 淳・小川和恵
 小川達也・小川 博・小川喜由
 沖 直弘・長田泰一・小澤由花
 小城哲治・小城 花・小木曾洋三
 奥嶋 勇・尾崎賢三・奥貫督司
 奥野浩一・奥村卓司・奥村英之
 小倉和宏・奥脇秀樹・長内康男
 長田郁夫・小澤明彦・小澤幸喜
 小澤春美・小澤敏弘・押本正彦
 小田英司・小田 慧・小田修敬
 小田拓也・小田 正・織田康弘
 尾高惇忠・落合佳宏・鬼澤美知子
 尾上信久・尾上良平・小野大祐
 小野 誠・オノサツミ・小野田政弘
 小畑幸子・尾畑 洋・小畑幸子
 小幡径行・小幡友紀子・小原万宗
 小原美佐江・尾原美和・尾日向暁
 小俣尚斗・小山田暁・織田よしこ
 甲斐智博・海津千鶴子・加賀美公二
 郭山貴代・寛 元則・影山 環
 鹿兒島豊・笠高哲夫・梶山雅章
 柏木榮三郎・柏木賢志・柏木雄介
 梶原幹夫・春日井邦彦・春日雅人
 数野通丈・片岡弘道・片桐雅二
 片多貴子・片山紀花・片寄真司
 勝田 誠・勝間志保人・勝又敬子
 加藤 明・加藤勝久・加藤太一
 加藤達雄・加藤千鶴子・加藤次克
 加藤 照・加藤はつ子・加藤正樹
 加藤雅之・加藤龍一・加藤 怜
 加藤 實・加藤信明・カトタカヒ
 門田義広・門脇道比古・金井一正
 金井藤雄・金指義機・金澤昭雄
 金澤基彦・金子 晋・金田勝俊
 金田洋佳・狩野晃治・金安晃裕
 鎌田 淳・鎌田利彦・神前英里奈
 神守 茜・神谷晴久・神山恵子
 亀川利雄・亀川登志子・加茂哲哉
 加茂正幸・菊宿貫志・川井登喜子
 川岸正宏・川喜多健二・河北 浩
 河口洋輝・河崎 崇・川瀬啓子
 川瀬 忍・川瀬 順・川瀬玲子
 川手由里子・川西 研・河野一郎
 河野奈穂子・川野秀敏・河野友紀
 川延智英・川之辺繁・川村 章
 河村俊宏・河村 誠・川村光子
 川村亮輔・河本浩一・川本 透
 河本洋子・菅 知也・菅 英雅
 神戸和男・神戸洋一・菊池純夫
 菊地英之・菊地保幸・菊地良一
 岸 郁夫・岸隆一郎・木島武俊
 北川 輝・北川洋子・木田哲朗
 北村和美・北村 武・橘川 聡
 木藤隆清・鬼頭 靖・城所秀樹
 木下美音子・木下貴志・木下恵美子
 木船 剛・君塚郁夫・木村香央里
 木村恵子・木村修司・木村 奨
 木村 孝・木村知恵子・木村 貢
 木村陽一郎・桐井 実・金枝上敦史
 久家貴子・日下雄介・草柳智徳
 工藤恵理子・工藤陽子・國方美沙子
 国安伸一・窪田真行・窪田光慶
 久保憲子・熊井茂樹・熊谷美波
 熊澤信也・熊野谿寛・糸百合子
 倉川良樹・黒岩 健・黒川明子
 黒川不二子・黒川裕介・黒澤はるか
 黒須秀昭・黒田喜郎・黒田高弘
 桑原一茂・毛馬内道夫・小池彬雄
 小池健一・小池俊介・小池春子
 小泉江都子・小泉光一郎・小泉正義
 小出武男・甲賀ひろみ・郡 政樹
 郡山秀子・國分圭子・國分義郎
 木暮欣正・木暮隆司・木暮晴美
 腰越 明・小柴裕太郎・小島かつ枝
 小嶋恵子・小島里美・児島弘樹
 小島 恂・小菅徳男・小谷美穂子
 小谷美和・兒玉達樹・古寺文彦
 後藤康太・後藤直徳・後藤信夫
 後藤信親・小西信行・小西美子
 小林 篤・小林貫太郎・小林健治
 小林大介・小林春代・小林弘之
 小林美佐子・小林 裕・小林由美子
 小林洋一・小林要平・小松孝義
 小松摩衣子・駒場義貴・小峯伸一
 小宮秀朗・五味陸明・五味陸仁
 小室政次・小屋敷隼郎・小柳篤史
 小柳隆史・小柳裕子・小山隆史
 小山泰子・小山良昭・金剛寺謙
 近藤昭子・近藤厚子・近藤 謙
 近藤 隆・近藤正隆・近藤道子
 近内俊介・斉木 修・斉木翔平
 齋藤亜美・齋藤和馬・齋藤宗三
 齋藤寛平・齋藤晃一・齋藤 駿
 齋藤 俊・齋藤章二・齋藤好治
 齋藤 隆・齋藤千代・サイトウボ
 齋藤福雄・齋藤まり江・齋藤 充
 齋藤満磯・齋藤良典・財部實禮
 佐伯佳奈子・三枝孝榮・酒井晋二郎
 酒井康光・酒井 亮・榊原康之
 坂田和哉・坂田瑞宜・坂田泰治
 坂野泰央・坂卷幸宣・坂村昭彦
 坂本義次・佐久間信治・佐久山洋
 桜井育子・櫻井貴裕・笹生典寿
 佐々木健・佐々木貫行・佐々木利明
 佐々木敏子・佐々木豊春・佐々木弘男
 佐々木浩・佐々木昌巳・佐々木真沙代
 雜賀壽和・雜賀 陸・佐藤彰雄
 佐藤昭範・佐藤栄子・佐藤和子
 佐藤克巳・佐藤公俊・佐藤京子
 佐藤真一・佐藤 忠・佐藤達郎
 佐藤たゑ子・佐藤 努・佐藤治子
 佐藤史明・佐藤 允・佐藤 亮
 佐藤美奈子・佐藤美保・佐藤裕子
 里見敦子・佐取 徹・眞田有快
 佐野和子・佐野達頼・サノ由紀子
 澤内由紀子・澤田 研・澤田康斗
 澤村明男・澤村有希・幸加茂茂夫
 塩入義和・塩賀 宏・塩沢幸一
 塩路 文・塩路直樹・志賀祐史
 重松智徳・實方晴通・實方一元
 篠塚正博・篠塚裕子・柴田 豪
 柴田紘一・柴田功史朗・柴田志野
 柴田小陽・柴山一樹・柴山香奈
 柴山泰亮・渋谷勝美・清水 暁
 清水有生・清水 研・清水孝次
 清水直哉・清水春行・清水正博
 清水 暢・清水雅紀・志水裕介
 下澤彩香・下澤晴子・霜鳥竜太
 下 直樹・淑 人・生山郁男
 白井智子・白石孝誼・白浜 浩
 秦 和之・秦 浩一・神 英幹
 真保 顕・新屋忠男・神保佳奈
 神保庸二・末永裕二・菅沼芳昭
 菅原一朗・杉崎一雄・杉谷 彰
 杉原正哉・杉村和則・杉村由喜

杉本 敬・杉山恵一・杉山功治
 杉山浩一・鈴木明子・鈴木珠美
 鈴木一彦・鈴木和彦・鈴木克彦
 鈴木啓朗・鈴木啓文・鈴木健次
 鈴木賢治・鈴木浩二・鈴木沙弥
 鈴木重義・鈴木 滋・鈴木 純
 鈴木 隆・鈴木千尋・鈴木 努
 鈴木哲夫・鈴木利健・鈴木智洋
 鈴木直人・鈴木伸子・鈴木秀博
 鈴木秀行・鈴木裕巳・鈴木文雄
 鈴木真紀子・鈴木雅子・鈴木正純
 鈴木政人・鈴木政徳・鈴木正道
 鈴木雅弘・鈴木美智子・鈴木康男
 鈴木靖彦・鈴木陽子・鈴木吉英
 須藤武美・須藤裕雄・砂川仁良
 清 元秀・瀬岡哲也・関 祥平
 関 潤・関岡直樹・関川順一郎
 関川正博・関口 治・関島 勝
 関田俊明・関根善二郎・関野有司
 瀬島桃子・仙波多巳恵・仙波安雄
 相馬弘二・曾我部隆・空本善孝
 當間浩昭・平良弘之・田尾 登
 田尾みずほ・高尾 光・高木能正
 高木 透・高木晴久・高木儀昌
 高倉 香・高島多香子・高島忠夫
 高島常康・高嶋 浩・高清水眞二
 高橋正樹・高島義治・高瀬幸信
 高田和男・高田耕太郎・高田光正
 高田 充・高梨由佳里・高橋一壽
 高橋 傑・高橋 栄・高橋重人
 高橋信朗・高橋慎司・高橋直己
 高橋博樹・高橋文夫・高橋 誠
 高橋稔和・高橋靖明・高橋康造
 高橋恭彦・高橋保文・高橋洋匡
 高平正行・高松利寛・高村千晃
 高山善四郎・田川 剛・武居公子
 武市尚友・武市黎明・竹井文昭
 武市 信・竹内 均・竹口華枝
 竹田恵子・武田圭司・武田繁幸
 武田大智・竹田智子・武田成史
 武田博之・竹間由泰・武村清人
 武村知子・田島広子・田島光英
 田代雅也・田代 靖・多田直樹
 立川元彦・辰元 凜・館内祐樹
 伊達美絵・伊達靖子・田中秋乃
 田中明彦・田中和彦・田中耕一
 田中 盛・田中定行・田中茂樹
 田中淳一・田中順治・田中多江子
 田中高広・田中隆之・田中哲夫
 田中照久・田中敏郎・田中夏樹
 田中 宏・田中雅人・田中道夫
 田中道子・田中美保・田中妙子
 田中康雄・田中優希・田中雄大
 田中友紀子・田中四良・田中義教
 田中呂欣・田辺健太郎・田邊 眞
 田辺直子・田辺真奈・田辺真理
 田端恭蔵・谷川史郎・谷口眞仁
 谷本正敏・田島久義・田原弘一
 玉虫秀一・田村隆敏・田村典正
 田村舞里菜・千種美好・千種浩司
 千葉重夫・塚原 仁・辻 彰彦
 辻 孝司・辻 秀憲・辻 好樹
 津田小百合・津田悠子・土本章夫
 土屋晃成・土屋阿佐・土谷敦利
 土屋 浩・土屋牧雄・土屋眞理子
 筒井 豊・常松忠宏・角田和司
 角田 俊・椿有紀彦・津村省浩
 圓谷真人・圓谷亮太・露木 豪
 鶴岡はるみ・鶴岡 仁・鶴田隆亮
 鶴田 順・鶴野剛士・梯 琴乃
 寺田 友・出羽 仁・出羽弥生
 天島カヲナ・天島紗良・戸井田能郎
 東野紘二郎・遠山和子・堂領登美子
 常盤敬之・徳永篤郎・徳光江美
 土志田正子・栃澤かおり・戸塚 仁
 戸田淳一・戸畑秀夫・富田和史
 富田起代子・富田靖子・富田良男
 富永麻由子・富山 幹・富山英輔
 友田義輔・友野三平・友野庄平
 友野宏子・友野亮平・豊嶋 毅
 豊竹正幸・豊田哲野・豊村信夫
 内藤知彦・内藤喜嗣・中居理人
 中泉清和・永井公夫・永井洋佑
 永井礼正・長井正明・長尾伸昭
 長尾久嗣・長岡文子・中川貴義
 中河原怜子・中嶋正好・中嶋孝宏
 中島みさ子・永島 謙・長嶋敏幸
 永島隆子・長瀬輝行・永田健夫
 長田宣久・長田佑子・中塚千恵子
 中塚善之・中津原平美・中西健次郎
 中西尚志・永沼誠司・長野千尋
 永納俊一・長野 正・永野幹晴
 中鉢順平・中林三平・永原真弓
 中部謙二郎・永堀通男・永松朋深
 長峯芳子・長峯璃果・中村あい子
 中村 新・中村絵里子・中村 天
 中村 健・中村健一・中村 公
 中村忠男・中村美恵・仲本正夫
 中山昭信・中山覚史・中山伸一
 中山 卓・中山真紀子・中山優子
 中山友香子・中山義章・中山好子
 永吉寛行・梨本加菜・並木友香
 成田 亮・成田哲郎・成田智信
 成房悦子・成瀬紘一・成海弘樹
 縄嶋周治・成勢敏彦・南田美加
 新倉賀奈・新倉達也・新村 稔
 新関陽一・新野竜一・西 主税
 西垣 徹・西片和男・西久保勝
 西倉秀樹・西澤公彦・西田容子
 西塚 至・西野雅雄・西村麻子
 西村 潔・新田加奈子・新田貴代
 布戸倦介・根本勇司・野口ひろみ
 野口る美・野崎杏奈・野崎健斗
 野澤直樹・野田孝充・野村岳史
 羽毛田裕・橋田とも子・橋田嘉紀
 橋本 輝・橋本 崇・橋本義弘
 橋本和人・萩原さんご・羽角友春
 長谷川麻彌・長谷川徳之・長谷川浩子
 長谷川元保・長谷川雄自・羽太 透
 秦 浩一・畑 信良・畑島敏彦
 端山 晃・端山教一・服部瑛一
 服部基樹・服部隆二・馬場甲子男
 馬場義博・浜口岳久・浜越直巳
 濱野文一・浜村俊一郎・早坂 淳
 林 愛三・林 國彦・林瑚大郎
 林 昌吾・林 倫仁・林 美和
 葉山英子・葉山淑人・葉山新一
 原 公泰・原 俊昭・原 信之
 原 力哉・原田尋生・原田ゆう子
 春木尊裕・春木美和・治田則男
 春山顕児・東山 健・正田博史
 正田光徳・樋口真弘・樋口秀之
 樋口 弓・久野山路・久野 亮
 久村素弘・久本道之・日臺芳子
 日向一郎・日向野弘・姫野貴美子
 平井真紀夫・平岩国泰・平岩良允
 平岡太郎・平田篤男・平田 茂
 平田 淳・平塚守人・平野昭正
 平野公久・平野哲章・平野光紗
 平野雅己・平野浩司・平林浩司
 平山高司・廣川勝子・廣川菜々
 廣瀬 愛・広瀬 繁・広瀬隆夫
 廣瀬 優・廣田誠也・広浜哲哉
 フォーリーメイヴ・フォルスター麻里子
 府川聖美・布木 明・福井健司
 福島信夫・福代拓哉・福田孝政
 福田泰幸・福地美沙子・福富暢行
 福宿和彦・藤井和之・藤岡貞彦
 藤川英一・藤沢純郎・藤嶋秀之
 藤田さつき・藤田大輔・藤田浩之
 藤野和夫・ふじ乃寿司・藤野忠彦
 藤村謙郎・藤村泰一・藤本勝代
 藤本剛史・藤本眞知子・藤本裕之
 藤山尚子・二見裕子・船坂孝志
 古尾谷信治・古川深志・古川昌博
 古木振一・古田俊夫・古田土明
 古田優子・別府諸兄・別府倫兄
 芳土戸治義・星川暁子・星川明璃
 星野功司・星谷美史・星谷雄太
 星野芳秀・細川嘉文・細谷マチヨ
 保多 洋・堀岡忠重・堀田知佳
 堀田鉄男・堀 司・堀 祐介
 堀井義一・堀内克彦・堀江耕太郎
 堀岡政昭・堀口 昭・本郷宏二
 本郷 了・本多通宏・前川 出
 前川貴宏・前川 力・前嶋 清
 前田晃美・榎 道子・蒔田哲也
 正木丞司・政田眞二・増井芭美
 増田和彦・増田豪介・増田浩平
 外田博之・増田弥恵・増田陽子

町田昌子・松井 晃・松井 謙
 松井達志・松井友里・松井良子
 松浦 章・松浦 収・松浦雄介
 松尾友子・松尾博章・松岡厚子
 松笠節夫・松澤光洋・松下俊雅
 松下マリ子・松田曉史・松田聡美
 松田直也・松田博之・松野雅幸
 松橋正三・松原玲奈・松村玲子
 松本修治・松本桂子・松本秀一
 松本英昭・松本三津子・松本里恵
 間宮秀樹・間宮政信・丸田哲也
 丸山 立・丸山 亨・丸山直樹
 丸山秀司・三浦 勇・三浦 浩
 三上順子・三上秀明・美河正浩
 三島啓輔・三嶋史人・三島悠輔
 水落かずみ・水越 靖・水島雅英
 水野久世・水野浩和・三谷久也
 三谷長秀・三田村一広・三田村欣彦
 三ツ間栄次・三贅泰子・光山晶子
 光山泰臣・皆川邦直・南川 明
 南 文夫・簗 豊・峰岸祥子
 蓑島哲夫・箕輪ゆか・宮川淳一
 宮川 毅・宮川哲弥・宮川智幸
 三宅裕之・三宅川崇・宮崎仁美
 宮崎祐誠・宮津大輔・宮村節子
 宮本太郎・宮本靖規・宮本弥生
 三好 泉・向井 勲・向井千晶
 武藤宏美・武藤守慶・宗岡秀樹
 村岡静枝・村越洋幸・村田文夫
 村山 靖・室 孝・室井浩通
 毛利一幸・茂木信佑・本橋照夫
 本村ひとみ・盛 清美・森川 慶
 森島恵治・森田知恵子・森田恭弘
 森 尚武・森 望・森千恵子
 森 葉子・森田俊一・森本晃平
 森山大二・森山 翠・柳下誠一
 薬師寺春光・矢後正子・矢澤一良
 安井宗春・保岡弘之・安澤則子
 安嶋明日香・保田澄子・保田浩正
 安田義治・矢田豊子・谷中史弘
 柳川日向子・梁川 亮・柳沢勇郎
 柳田敏雄・柳沼善広・矢野りさ
 矢萩照男・矢部和也・矢部洋三
 山浦真一・山形俊樹・山岸 大
 山岸成昭・山口綾子・山口敏三
 山口恵三・山口智之・山口正孝
 山口正隆・山口元子・山口雄郎
 山口雄寛・山口祐理子・山口吉英
 山崎京介・山崎仁子・山崎裕香
 山下英一・山下喜久枝・山下耕平
 山下夏実・山下 恵・山室宗光
 山科章子・山田明彦・山田剛資
 山田俊平・山田麻実・山田美奈都
 山田峰彦・山田涼子・山田 柊
 山田治子・山中清志・山中昭司
 山中陽光・山根 格・山根 保
 山野 潤・山道達郎・山村淳一
 山村拓未・山室佐知子・山室常光
 山室俊郎・山室千花子・山本克美
 山本邦生・山本賢二・山本宏一
 山本集也・山本高雄・山本武史
 山本千春・山本照雄・山本富美江
 山本真理子・山本康雄・山本高雄
 山分 純・横井研一・横井谷子
 横田信一・横田東平・横田二葉
 横山一郎・横山泰介・横山満徳
 吉井 益・吉岡真利子・吉岡美和
 吉川謙太郎・吉川忠興・吉川朋子
 吉川裕貴・吉瀬右子・吉田一子
 吉田清人・吉田彩希・吉田 淳
 吉田 聖・吉田新一・吉田稔彦
 吉田清純・吉田典夫・吉田昌弘
 吉田 誠・吉田英靖・吉田洋一
 吉野俊明・吉原里衣・吉原 哲
 依田知美・米田洋次郎・米村太夫
 蓬田康太郎・龍瀧憲治・リゾメザ
 六本木千尋・若松秀一・脇すみれ
 脇 博宣・涌井達雄・渡井文江
 渡井幸男・和田大輔・和田 徹
 渡辺篤哉・渡辺和彦・渡辺啓子
 渡辺 衿・渡邊隆史・渡部保日
 渡辺浩志・和田みゆき・和田洋一
 その他匿名希望14名
 (2)回寄付者
 相田恵美子・赤坂 一・安西 洋
 幸池田政克・石井克幸・石井孝雄
 伊藤勝弘・伊藤 等・井上輝彦
 植田治久・大石暢彦・大越 保
 大野圭介・岡村和彦・小木曹洋三
 奥嶋 勇・鬼澤美知子・小原美佐江
 小俣尚斗・小幡径行・加賀美公一
 寛 元則・数野通丈・加藤はつ子
 金指義機・川井登喜子・河北 浩
 川之辺繁・菅 英雅・菊池純夫
 岸 郁夫・木島武俊・木村 奨
 國方美沙子・黒田喜郎・桑原一茂
 小暮隆司・腰越 明・五味陸明
 五味陸仁・金剛寺謙・近藤正隆
 佐藤京子・齋藤 隆・坂田泰治
 坂野泰央・佐々木利明・佐々木浩
 佐藤昭範・佐藤公俊・サヨ由紀子
 杉本 敬・鈴木利健・鈴木康男

空本善孝・平良弘之・高橋正樹
 高島義治・田川 剛・武市 信
 多田直樹・田中淳一・田中義教
 田端恭蔵・土屋牧雄・鶴野剛士
 戸畑秀夫・友野庄平・内藤喜嗣
 永納俊一・中部謙一郎・中村 新
 中村健一・永吉寛行・梨本加菜
 成勢敏彦・西倉秀樹・羽毛田裕
 樋口真弘・平野公久・藤井和之
 藤岡貞彦・古木振一・本郷 了
 前川 出・松浦 章・松浦 収
 松浦雄介・松尾友子・松田曉史
 三上順子・簗 豊・宮川哲弥
 宮川智幸・向井 勲・武藤守慶
 森 望・森千恵子・森田俊一
 矢澤一良・山口敏三・山口恵三
 山口吉英・山田麻実・横井谷子
 吉田清人・蓬田康太郎
 (3)回寄付者
 江利川幸弘・佐藤 允・田辺真理
 仲本正夫
 (4)回寄付者
 平岡太郎



◆法人
 明石被服興業(株)・(株)朝日
 工業社横浜支店・(株)アルファ
 映像・イセキ耳鼻喉科・(株)
 一幸堂・(株)江ノ電バス藤沢・
 (有)おおさと・(株)屋外体
 育・(株)学術企画・(株)神奈
 川孔文社・(有)キタジマスポー
 ツ・近畿日本ツーリスト(株)・
 湘南教育旅行支店・久津間製粉
 (株)・マロ齒科・公安警備保
 障(株)・(株)こどものとも横浜
 営業所・湖南造園(株)・三興
 鋼材(株)・(有)サン写真スタジオ
 オ・(株)さんこうどう・(株)サ
 ンユー・(株)シービーエス・(株)
 ジャクエツ・(株)湘学・(株)湘
 南インシニアランス・総合警備保
 障(株)・湘南支社・(株)綜合写
 真・綜合商事(株)・(株)相馬
 屋・(株)大春工務店・(株)タカ
 ショー・(株)田中保険事務所・
 (株)ティーアンドワイズスキ・
 東京私鉄広告(株)・トップツア
 ー(株)横浜支店・(有)豊元書
 店・日欧事務機(株)・(株)ノト
 スライプ・(株)バイニイ・畑国
 際特許事務所・(株)バレクセル・
 (株)日立システムズ・フジゼロッ
 クス神奈川(株)・(株)フジマニ・
 (株)富士通ワイエフシー・(株)
 富士屋・(株)文祥堂・(株)文盛
 堂・(株)丸定・(株)横浜銀行藤
 沢中央支店・理想科学工業(株)

ご寄付を賜りました個人・団体法人の方々に心から感謝申し上げます。なお、募金は本年3月まで受け付けており、最終的な寄付者のご紹介は、次号の学園だよりに掲載させて頂きますとともに、銘板に御芳名を記載し末永く顕彰させて頂きます。引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】
 湘南学園創立80周年記念
 「松ぼっくり募金」事務局
 電話 0466-23-6611(代)



《80周年記念事業実行委員の紹介》

湘南学園創立80周年記念事業の牽引役として約3年もの長期間にわたりご尽力いただいた理事・会・学園教職員・PTA・同窓会後援会からなる「チーム湘南学園」実行委員会の皆様を、順不同とさせていただきます。紹介させていただきます。(理)は理事、(学)は学園教職員、(P)はPTA、(同)は同窓会、(後)は後援会の方を表し、敬称は省略させていただきます。なお、兼務の方もそのまま掲載しております。

●常任委員会 辻 彰彦(理事長)、仲本正夫(学園長)、佐藤京子(副理事長)、齊藤麻由美(理)、山田明彦(中高校長)、齊木 修(小学校長)、古田優子(幼稚園長)、浦田智禎(PTA会長)、渡邊和彦(同窓会長)、富田良男(後援会長)、北村 武(法人事務局長)、佐藤 允(前同窓会長)、高尾 信(前理事長)、田中義教(前法人事務局長(以上14名))

●執行委員長 辻 彰彦(理事長)、副実行委員長 仲本正夫(学園長)

●行事委員会 齊木修(小学校長)、仲本正夫(学園長)、齋藤麻由美(理)、前川 力(同)、古田優子(幼稚園長)、山口吉英(学)、山口佳久(同)、河本洋子(学)、田中優希(学)、小原美佐江(理)、鎌田利彦(学)、鈴木由佳(後)、吉津句子(学)、岸田修成(学)、堀井義二(同)、長谷川浩子(P)、高嶋浩(同)、岡部 稔(同)、芳土戸ルミ子(後)、丸岡 薫(後)、望月保明(学)(以上21名)

●記念誌委員会 山田明彦(中高校長)、田辺真理(後)、木村陽一郎(学)、近藤正隆(後)、浜越直巳(学)、吉川謙太郎(学)、藤田さつき(学)、佐藤彰雄(同)、高橋慎司(学)、河本洋子(学)、大越 保(理)、原田ゆう子(P)(以上12名)

●事業委員会 辻 彰彦(理事長)、仲本正夫(学園長)、田中義教(前法人事務局長)、北村 武(法人事務局長)、原田ゆう子(P)、渡邊和彦(同窓会長)、堀江耕太郎(学)、種子島浩子(P)、前川 力(同)、鈴木 努(学)、西塚 至(理)、有園和子(学)、高木 透(理)、小宮秀朗(理)、坂元久美子(学)、川井登喜子(後)、圓谷真人(学)(以上17名)

●募金委員会 佐藤京子(副理事長)、高木 透(理)、渡邊和彦(同窓会長)、北村 武(法人事務局長)、富田良男(後援会長)、浦田智禎(PTA会長)、伊藤眞哉(学)、齊藤健夫(同)、田中義教(前法人事務局長)、赤井和憲(同)、緒方哲也(学)、鈴木 努(学)、中川貴義(学)(以上13名)

《学校法人から》



●キルトタペストリーチーム 小原美佐江(理)、PTA有志
 ●式典及び祝賀会は、理事会と法人事務局で企画を担当致しました。

【理事會報告】

前号掲載以降、次の理事会を開催しましたので、報告いたします。

第6回定例理事会	9月19日
第7回臨時理事会	10月11日
第7回定例理事会	10月26日
第8回臨時理事会	11月9日
第8回定例理事会	11月30日
第9回定例理事会	12月21日
第8回臨時理事会	1月10日
第10回定例理事会	1月25日

【主要な議題・報告】

- ・就業規則の改訂について
- ・小学校校舎の「神奈川県建築コンクール」最優秀賞入賞について
- ・平成26年度予算編成方針等について
- ・次期学園長選任の公示

【評議員會報告】

第2回評議員会	10月26日
第3回評議員会	1月25日

【主要な諮問事項等】

- ・80周年記念行事について
- ・平成25年度の補正予算について
- ・小学校アフタースクールについて
- ・新入生の応募状況について
- ・募金報告
- ・ヤングアメリカンズについて
- ・次期学園長選の結果について

